

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：都市局街路交通施設課
担当課長名：神田 昌幸

事業名 西脇山口線（川永工区）	事業区分 街路	事業主体 和歌山県												
起終点 自：和歌山県和歌山市宇田森 至：和歌山県和歌山市藤田		延長 1.3 km												
事業概要 西脇山口線は、和歌山市磯ノ浦地内を起点とし、同市里地内の国道24号との交差点部を終点とする1.7 kmの都市計画道路である。川永工区は、和歌山市北部地域の東西軸の形成及び地域高規格道路第二阪和国道の大谷ランプへのアクセス向上を目的とした延長約1.3 kmの街路事業である。														
H25年度事業化	S39年度都市計画決定 H27年度都市計画変更	H26年度用地着手 H26年度工事着手												
全体事業費	約31億円	事業進捗率 17%												
計画交通量	11,500台/日													
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">B/C (事業全体) 3.8</td> <td style="width: 30%;">総費用 (残事業/事業全体) 24/29億円</td> <td style="width: 30%;">総便益 (残事業/事業全体) 111/111億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 4.7</td> <td>事業費：23/29億円</td> <td>走行時間短縮便益：88/88億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持管理費：0.34/0.34億円</td> <td>走行経費減少便益：16/16億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益：6.8/6.8億円</td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 3.8	総費用 (残事業/事業全体) 24/29億円	総便益 (残事業/事業全体) 111/111億円	(残事業) 4.7	事業費：23/29億円	走行時間短縮便益：88/88億円		維持管理費：0.34/0.34億円	走行経費減少便益：16/16億円			交通事故減少便益：6.8/6.8億円	基準年 平成27年
B/C (事業全体) 3.8	総費用 (残事業/事業全体) 24/29億円	総便益 (残事業/事業全体) 111/111億円												
(残事業) 4.7	事業費：23/29億円	走行時間短縮便益：88/88億円												
	維持管理費：0.34/0.34億円	走行経費減少便益：16/16億円												
		交通事故減少便益：6.8/6.8億円												
感度分析の結果														
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=3.5~4.2(交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=4.3~5.2(交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=3.5~4.3(事業費±10%)</td> <td>事業費：B/C=4.3~5.3(事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=3.7~3.9(事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C=4.6~4.8(事業期間±20%)</td> </tr> </table>			(事業全体) 交通量：B/C=3.5~4.2(交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=4.3~5.2(交通量±10%)	事業費：B/C=3.5~4.3(事業費±10%)	事業費：B/C=4.3~5.3(事業費±10%)	事業期間：B/C=3.7~3.9(事業期間±20%)	事業期間：B/C=4.6~4.8(事業期間±20%)						
(事業全体) 交通量：B/C=3.5~4.2(交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=4.3~5.2(交通量±10%)													
事業費：B/C=3.5~4.3(事業費±10%)	事業費：B/C=4.3~5.3(事業費±10%)													
事業期間：B/C=3.7~3.9(事業期間±20%)	事業期間：B/C=4.6~4.8(事業期間±20%)													
事業の効果等														
<ol style="list-style-type: none"> ①和歌山市北部地域における東西軸が形成され、周辺地域の利便性が向上する。 ②4車線の直線道路の整備により、快適な走行空間が確保される。 ③粉河加太線（現道）をはじめとした周辺道路についても、慢性的な交通混雑が緩和されることで、安全性、快適性の向上及び沿道環境の改善が期待される。 ④歩道の設置により安全で快適な歩行空間が確保される。 														
関係する地方公共団体等の意見														
「第4次和歌山市長期総合計画・後期基本計画」（H26.3策定）の『外環状線』に位置付けられている重要な路線である。														
事業評価監視委員会の意見														
事業継続を妥当と認める。														
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等														
なし														
事業の進捗状況、残事業の内容等														
<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に事業化。 ・用地取得率40%、事業進捗率17%（平成28年3月末時点） 														
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等														
平成29年度の完成に向け、用地取得及び工事を推進していく。														
施設の構造や工法の変更等														
工法に変更はないが、引き続き現場発生土の埋戻材や盛土材への転用による建設副産物の発生抑制、再生材の利用やプレキャスト製品の使用によるコスト縮減に努めていく。														

対応方針

事業継続

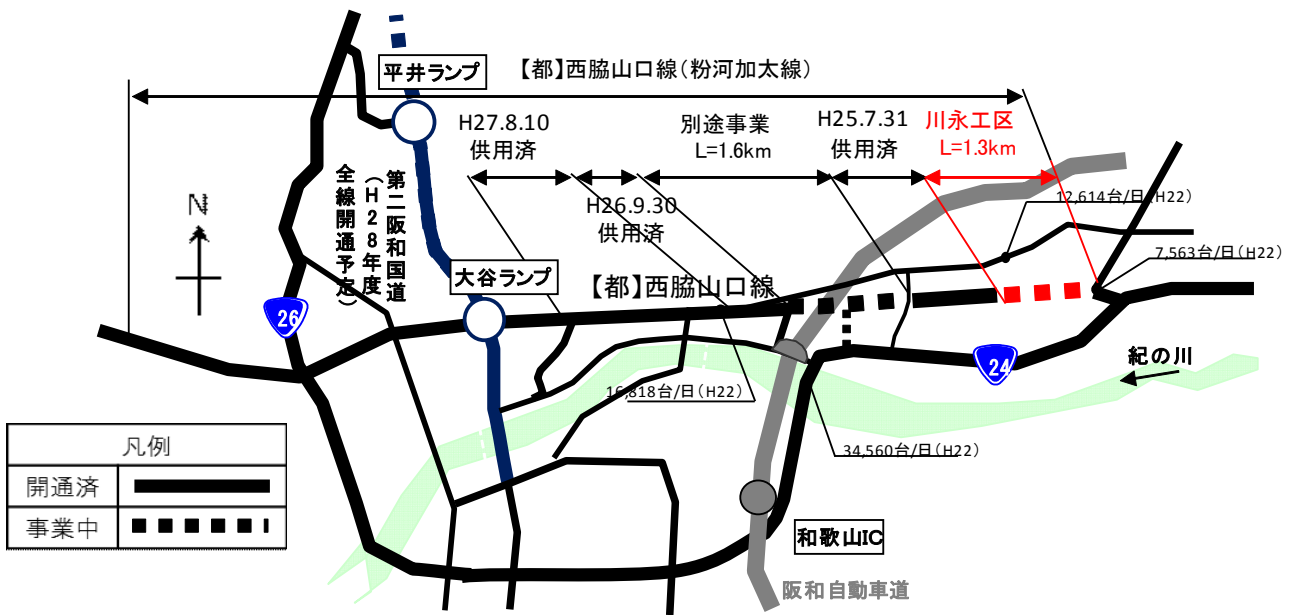
対応方針決定の理由

西脇山口線（川永工区）は『川筋ネットワーク』に位置づけられており、現在重点的な整備を行っている。当事業の完成により和歌山市北部地区における東西軸が形成され、周辺地域の利便性が向上するとともに、歩道整備により安全性及び快適性の向上が期待される。さらに周辺道路についても慢性的な交通混雑が緩和されることで、安全性及び快適性の向上が期待される。

また当路線は周辺6地区連合自治会からなる西脇・山口線期成同盟会から早期全線開通の要望を受けている

B/Cも3.8で費用に対して十分な便益が見込まれる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。